

ささ郷だより

日ごとに秋の色が濃くなってきていますが、皆様方にはご健勝にておすごしのこととお慶び申し上げます。

このたび、ささ郷だより 7号をお届けしました。ご一読頂ければ幸いです。

トピックス

笹川秋祭り2011

去る8月27日 笹川秋祭り・盆踊りが笹川諏訪神社境内で盛大に催されました。東京笹川会からは10数名参加しました。

【8月26日 前夜歓迎懇親会 カラオケなどで興じる】



【子供神輿 皆さん、可愛くそして元気でした。】



【神楽 今年は、盈進町内の若い衆が担ぎました】



【獅子舞奉納 今年も素晴らしい奉納舞でした。】



【盆踊り】



【昔ながらの屋台や、境内には地区模擬店(写真奥)が出店しビールやつまみなどの販売も行われました。】



交通栄誉章・緑十字金章を受賞

深松 實さん

平成23年1月17日と18日の2日間、全国で交通事故防止活動を推進している指導者など2,000人余が東京の日比谷公会堂等に集い「第51回交通安全国民運動中央大会」が盛大に開催されました。

その第2日目の本会議で、内閣総理大臣(代理)、衆議院副議長、国家公安委員会委員長などのご来賓、受賞者、交通安全指導者など2,000人余の出席もと、授賞式が行われ、交通安全に多大なる功績があったとして**交通栄誉章・緑十字金章**を受賞されました

この大会は、交通事故防止に係わる各分野の指導者が一堂に会し、決意を新たに一層強力な国民運動を展開しようと(財)全日本交通安全協会が設立された昭和36年から毎年開催しているもので、全日本交通安全協会と警察庁の共催、内閣府、文部科学省、国土交通省、(財)全国安全会議、(社)全国交通安全母の会連合会の後援を受けて開催されております。



併せてのご紹介になりますが、平成20年度春の叙勲に、国家および公共に対し功労があったとして**旭日双光章**も受賞されています。



その慶事を祝い秋祭りに併せて獅子舞を奉納なさいました。

朝日町社会福祉協議会 会長表彰
折谷 武さんが、これまでの老人会活動に貢献されたとして、10月7日に功労賞を受賞されました。

ライフスタイル

次の方々から便りをお寄せ頂きました。

- ・「笹川の獅子舞」に勇気をもらって
清水 ゆかりさん
- ・百合の花・里山賛歌
長井 久夫さん
- ・楽しい趣味とともに、新たな青春
篠原 律子さん

「笹川の獅子舞」に勇気をもらって

清水 ゆかりさん
(宮平町内会)

私の出身は、朝日町泊の清水町です。

笹川に越してきたのは、2004年(平成16年)12月。神子沢さんのおばあちゃんが住んでおられた「宮平町内会」のこの場所に来てから、早いもので、もうすぐ丸7年になります。

私は現在、朝日小屋という山小屋の管理人をしています。亡父の跡を継いでから、今年で11年目のシーズンを終えました。

北アルプスの最北端・朝日岳(2418m)の朝日平に建つ朝日小屋には、小屋・テント泊を合わせて年間3000人前後の登山者の皆様が、県内外から訪れます。

小屋の仕事は、登山者の食事や部屋のお世話、登山道の整備、山岳遭難事故防止や遭難救助など多岐にわたります。また私自身は、関係機関との連絡調整やアルバイトたちの世話などを含め、オフになっても各種の会合への出席や書類の提出など、一年を通じて何かしらの仕事をこなしております。

山小屋管理人になってから、仕事関係の様々な荷物がどんどん増えていきました。またシーズン間近になると、小屋への荷揚げの物資が大量に所狭しと並び、仕事をするための「空間」がどうしても必要になってきました。

加えて、シーズンオフの来客も、山岳警備隊やガイドさん、関係者や業者さんなど、遠方からも頻繁にあります。アルバイトのみんなが、入山前や下山時に気兼ねなく泊まれる場所も必要になってきました。そんな諸々の事情で『朝日小屋連絡所』を開設できる地を探していたところ、この笹川に素敵な居場所を見つけたのです。

笹川へは、泊小学校から秋の写生会で毎年訪れました。もう40年以上前になりますが、当時は小丸山グランド横の古いトンネルを歩いてきたものですが、水溜りだらけの真っ暗なトンネルに怖い思いをしたのをよく覚えています。

今では、車に乗ればあっという間に泊市街にも出れるし、生活の不便は全く感じていません。

幸いにも、泊中学校時代の同級生が村の中に何人もいて旅行やお楽しみ会に誘ってもらったり、近所の方が同級生の親御さんで何かの時には声を掛けてもらったりと、皆さんに可愛がってもらっています。宮平には、年齢の近いご近所の方たちで作る「美女会」という集まりがあり、そこにも参加させてもらっています。

また仕事柄、一年の半分近くを留守にするという状況にあり、町内の仕事が出来ずに大変ご迷惑をお掛けしているにも関わらず、町内会や班の皆さんには良くして頂き、本当に感謝しております。

私は、この笹川の自然が大好きです。

一斉に花が咲き出す春のころ、朝日小屋を閉めて下山した後の深まりゆく秋の様子。そして初雪が降るころには、杉の木立に雪がついた感じが、まるで村全体がクリスマスツリーに包まれているように思えて、本当に大好きです。

近くの横尾から三峯までのふるさと歩道や、黒菱山や南保富士、どこを歩いても何度歩いてもその度に新しい発見にワクワクドキドキします。春先も晩秋も、そして新雪をラッセルする頃も良いですね。

私は、一人暮らしをしていますし、また仕事柄留守にすることが多く、地区の仕事が十分に出来ないことを心苦しく思っています。PTA活動に参加することもありません。6月から10月は山の上での仕事になり、ほとんど里には下りてきません。笹川では生活が細切れになっていますから、ごみ当番も一部免除してもらっていますし、町内の役員を引き受けることもできません。

地区には貢献できていないのですが、これからも朝日小屋管理人の仕事を通じて、県内外の皆さんに笹川の魅力を発信していくことを心掛けていきたいと思えます。

笹川に住んで7年。ここには、この地ならではの文化や歴史が根強く残っていると感じます。笹川に残る豊かな自然、文化と歴史、そして地区の皆さんの生活、それを守っていく努力、すべてが合わさって「笹川の魅力」となっているのではないのでしょうか。

一方私が越えてきてから以降も、何人かの移住者があります。一部に法を犯した若者もあり地区に迷惑が掛かったかもしれません。しかし大半は、この笹川の自然と趣きが好きで、笹川の人情が好きで越してきたものばかりです。

私も含め、出来ることなら、移住して来た者たちを温かい目で見守って頂き、末永くお付き合い願えたら、と思っています。

初めて越してきた冬が明け、桜の花が咲き出した頃、4月の春祭りで見た「笹川の獅子舞」。長い冬を過ごしてようやく春が訪れた喜びを表わし、陽光の中で舞う素朴な獅子舞。この地で頑張ろう、そう思った7年前の春の一日でした。

微力ながら頑張っていきたいと思えます。これからも、どうぞよろしく願いいたします。

以下は編者が【北アルプス 朝日小屋】のホームページから偏見と独断で抜粋して書き添えました。表現不足なところはご容赦下さい。

【北アルプス 朝日小屋】

朝日岳は、北アルプスの最北部に位置する朝日町の町名由来の山です。(標高:2,418m)



朝日小屋はその手前の朝日平にあります。この地は北アルプスでも最も高山植物が多い場所として知られています。



笑顔で登山客を迎える、ゆかりさん



ホームページ【2011年7月29日小屋日記より】

今日も、キャンセル続出。真夏の最盛期、しかも金曜日だということに、あらら…です。

それでも雨風の中、ずぶ濡れになりながら朝日小屋に来て下さったのは、白馬岳から1名様、蓮華温泉から4名様。そして3連泊目の方が1名様。

今日の宿泊は計6名様、いずれも女性です。(オンナは、強し!?)

朝日小屋自慢の「肉じゃが」は、準備の関係で作れませんでした。皆さんに喜んで頂きたく、スタッフが用意してくれたのはどれも手作りの惣菜ばかり。



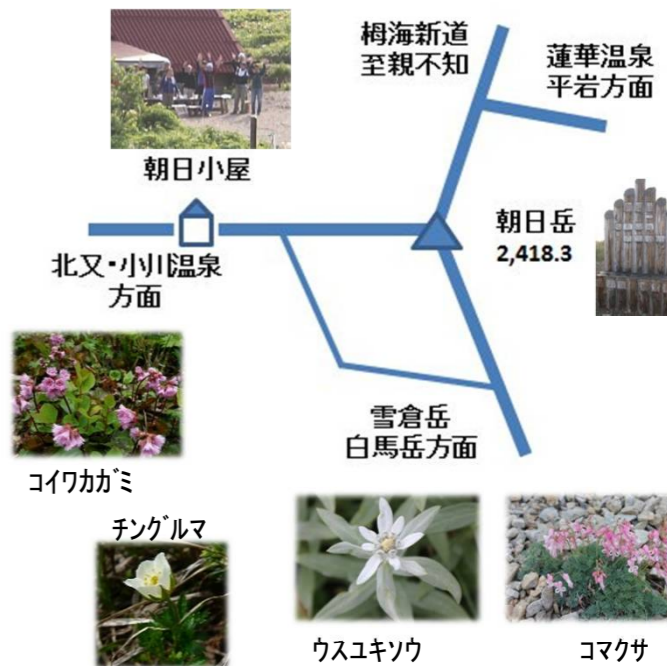
そして真夏といえど、長時間の歩きで雨に濡れて冷えた身体には、ストーブで暖を取ってもらい、湯豆腐で身体の芯から温まってもらいました。

女性ばかりで、食堂も賑やか。

- …明日も雨が予想されます。
- …せっかく早く真夏の空に出会えたのに、何だか梅雨に逆戻りしたみたい。
- …各地での、大雨による被害が心配です。

小屋情報

- ・営業開設期間 例年 6月初旬～10月中旬
- ・登山ルート概略



詳しくは、Webをお訪ね下さい！！

<http://www.asahigoya.net/>

【百合の花・里山賛歌】

長井 久夫さん(久次郎)

笹川秋祭り2011年に参加するため郷里に帰省した。8月27日 雁蔵での獅子舞が終わり次の場所に移動する準備をしていたところ、久夫さんから庭に咲いた花の写真を見て欲しいと声を掛けられた。

座敷に通され見せて頂いた写真は、50輪の花をつけた見事な百合の花であった。庭に出て既に花を終えた茎と写真を見比べ、開花時の素晴らしかったであろう景色を想像した。



座敷の壁を見ると笹川の自然を歌った【里山賛歌】が飾られており、その歌に書かれている【赤松の滝】などの写真も額に入れ飾られていた。笹川の自然をこよなく愛し、それを写真に残している久夫さんの話に時間の過ぎるのも忘れた。御年84歳とのことであつたが、とてもそのようには見えないお元気な容姿であつた。今でも黒菱山などに出かけられているとのこと。



庭には、久次郎(屋号)がこの地に住居を構えられた経緯を書いた石碑が建っていた。



【楽しい趣味とともに、新たな青春】

篠原 律子(横浜市在住)

フラダンスとの出会い

3人の子供に恵まれ、その子達から手が離れたのを期に、スポーツジムで健康のためにと水泳を始めました。そして、6年前に家に近いスポーツジムに移りそこでフラダンスを体験、仲間と踊る楽しさの健康法にはまり込んでいます。



カメラで描く.....

10数年まえに今まで使っていたコンパクトカメラが壊れたのを期に、キャンの一眼レフカメラEOS Kissを購入しました。カメラは大きく少々重さもありますが、わが子・庭の花・公園・山々と被写体を求め歩く度に、何時となく健康的な自分が居ることに気がつきました。

(笹川で)

久しぶりに故郷に帰った時、素朴な自然を撮りたいと思い、懐かしさの匂いを感じながらカメラを片手に盈進町内まで散歩しました。「すみませ〜ん、ちょっと撮らせて下さ〜い」「いやあ〜恥ずかし〜い、あんたどこのひとでー」「しろべどんの6番めの律子です」「ほ〜ん、やっばじーちゃんの子供だね〜。きれいに撮ってよ」。



道行く人に出会う楽しさ、撮す喜びを味わい故郷の自然を満喫させて頂きました。そして、亡父と同じ事をしている自分を嬉しく思い、時には誇らしさをも感じました。



清き山々に囲まれ育った私。山、川をこよなく愛していた亡父の娘、当然のように山々・自然な景色の被写体に引かれます。《 蟹鍋や ふるさとのこと 思ひみる 》

(山岳で)

2007年8月、数年後に還暦を迎えようとする私は、カメラ機材を入れた10キロ近いリックを背負い 2,763mの燕岳に挑戦しました。



頂上に登りきったときは、心の奥から湧き上がる新鮮な強い感動を覚えました。360度の全貌を見渡す風景は素晴らしく、凛々しく聳え立つ槍ヶ岳は特にすばらしい。さらに朝日を受けた槍ヶ岳は見事でした。光を追って必死にシャッターをきる私でした。

この度、その時に撮った写真を品川で行われましたキャンの写真展に飾って頂きました。嬉しい事に東京、神奈川在住の同級生の方々が見に来て下さいました。ご多忙の折本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

私がこのように趣味を続けられるのも、日々、私を取り囲む人々が温かく見守って下さっているからと、幸せを感じつつ、そして感謝の気持ちがいっぱいです。

里山賛歌 久夫詞
黒菱の山より岩に砕けて
流る清流に人目忍ぶより
に咲いた雪椿
心も清く育った乙嬢は
近郷に美女の里は絶郷
と尋ねてみた乙嬢の里
新緑漂り香りと魚影に
誘われて忍び歩く岩影は
七郎石門開たおせん落と
し流す釣り糸に岩魚が
引けば心も躍る
美しく囁きながら木陰を
飛び行くウグイスの谷渡
紅葉の美しく映た色の
やまなみた瀧は何処かと
見渡せば人目忍ぶように
谷間の赤松は滝
岩肌を跳て白く飛散る白
龍と瀑布高く舞い上げ
と音の七重龍
平成廿拾三年 多賀子書

自然体験学習

去る7月1日、愛知県豊田市猿投台(さるなげだい)中学校(宮川隆広校長)の2年2組の生徒さんが自然体験学習のため笹川を来訪された。

同校のこの行事は恒例行事で、今年のはじめて笹川も新たな受け入れ先として名乗りをあげ、4月29日に同校教諭も交え内容の意見交換を行った上で準備を進めてきた。(他に蛭谷:林業、大家庄:農業、宮崎:漁業)今回実施された体験メニューは、
・笹川で水中生きもの観察
・共生の里ささ郷施設での竹細工
・ふれあい農園での除草
などであった。

あいにく、雨模様の天気であったが生徒達は生き生きと体験学習に励んだ。

参加した生徒からお礼の作文が届きましたので、その一部を掲載しました。

【竹細工】



【民家訪問】



【昼食準備 手作りのおにぎりとお汁】



【農園作業 実バラ床の除草など】



【水中生きもの観察 アユを捕まえ大喜び】



拝啓 総合体験でお世話になった皆様
 厳しい暑さが続いておりますが、みなさまにはお変わり
 ありませんでしょうか。
 さて、7月1日に総合体験学習では、お世話になり
 本当にありがとうございました。普段接することのな
 い体験を実際にやってみて、特に心に残ったことが二つ
 あります。
 一つ目は川の大切さです。わたしたちが住んでいるとこ
 ろの矢作川などは汚れて、ゴミが流れていたりする川です。
 矢作川では、あたり生き物に会うことができません。けれ
 ど、わたしたちが体験ではらせていただいた川では
 短時間でたくさんの生き物に会うことができました。これは
 その川の近くに住む人が川を汚さないから生き物が住めるのだと思
 い、わたしも川を大切にしようと思いました。
 二つ目は、山のあじらいです。たくさんの生き物がいて
 おいしい食材もあって、いろんな植物もあって、やさしい人た
 ちがいて...など、いろんな良さを感じられました。山の良さを
 丁寧に教えて下さりありがとうございました。
 「自然はかけがえのないもの、これが今回、わたしが学んだこと
 です。このことは、これからの生活にしっかりと、いかしてい
 きたいと思っております。
 皆様もお体に気をつけて、お仕事がんばってください。
 敬具

平成23年7月15日
 豊田市猿投台中学校 2年 道前知佳
 竹原 ちか

拝啓 総合体験でお世話になったみな様
 日に日に暑さが増しています。みな様にお変わりは
 ありませんでしょうか。
 さて、7月1日に総合体験でお世話になり、あり
 がとうございました。なかなか普段接することの
 ない農林漁業体験を実際にしめて、私にとって
 なつかしい気持ちになりました。そして、実際に体験
 して、特に心に残ったことが二つあります。
 一つ目は、笹川自治体のみな様のお優しさです。
 竹細工を体験した時、深くほりすぎて竹が折れ
 てしまいました。この時、優しくほり方を教えていた
 ったり、また、羽を付けるのを手伝っていただいた
 り、とても嬉しかったです。食事も、とても美味しくい
 たにいただきました。
 二つ目は、みな様の笑顔です。常に笑顔で、
 とても輝いてくれました。
 「将来、大人になっても、ふる里を忘れないこと」
 これが今回の体験学習から私が学んだこと
 です。お体を大事にし、これからもお仕事をがんば
 ってください。
 敬具

平成23年7月15日
 豊田市猿投台中学校 2年 道前知佳
 竹原 ちか

一特集 笹川特産品振興事業一

実バラの先進栽培地視察

去る10月6日、実バラの株苗を購入した高山市国府町にある【JAサポート岐阜 飛騨営業所】を訪問し、刈り取り〜出荷までの作業手順などの講習を受けた。(参加者 16名)



この地の実バラは3〜5年ものが多く、実の付き具合が豊富であった。

(笹川のは来年あたりから楽しみ。)

葉、トゲなどの除去作業



整形作業

長さは、50、60、70センチに分別される。

箱詰めを待つ実バラ



ことわざ伝説 その2

弥与松サのテッポウ(鉄砲)

弥与松の孫じいさまのこと。日本と外国との間で大きな戦があった頃の話である。

ある冬の日、凱旋の手柄話で宿は賑わっていた。その席で弥与松サの言うことには、日本が勝ったのは『テッポウが優秀で、撃った弾がみな当たったからじゃ。』『そないなこたあない』と言え...『いやホント、山の向こうの敵に撃つと必ず当たったが。』『そこに敵がおらんたらどうすらじゃ。』『わからんかのう〜、おらんやもう一つ山を越えていって当らじゃがい。』といわれたと言う。それくらいのラッパであった。

それにしても弥与松サの頭には明治時代にして既に誘導弾があった...とは恐るべき予言である。あ〜、なにと天才であったことか...

かくして、後の人はそれくらい大きな話を【弥与松サのテッポウ】と言っている。また、その人を別名【千三ツ】とも言っている。

仁エ婆のコブ(昆布)

昔、仁エと言う家があった。その家の婆さんが昆布を売っておられた時に、十銭(昔の貨幣単位)出しても二十銭出しても昆布の量が同じだったそうだ。

どういう訳か...計算するのが面倒だったのか、計算出来なかったのかは定かではない?

たとえば労務で一日働いても、半日の働きであっても、一日働いたことにする事を【仁エ婆のコブ】と言っている。

【編者のつぶやき】

今号も郷里での行事や、沢山の郷党人(故郷を同じにする人という意味です。)の方々からの便りを載せることが出来ました。ご協力頂きました方々に心より御礼申し上げます。

皆様からのお便りを読んで感じたことは、『青春とは、人生のある期間をさすのではなく、心の様相を言う。』

薔薇色の頬、紅い唇、柔らかな膝というような事ではなく逞しい意志、豊かな創造力、燃える情熱をいう。

人生の深い泉の新鮮さが青春なのだ。人は年を重ねただけでは老いない。

理想や目標を失った時に老いは始まる。』
《青春》サムウェル・ウルマン より

と、言うことでした。皆々様も同様に、お仕事、趣味でそれぞれの青春を生きておいでと思います。是非、【ライフスタイル】の項にお寄せ頂ければ幸いです。

どうぞお元気で行く秋をお楽しみください

インターネットに【共生の里 ささ郷】と言う、ホームページも掲載しております。

<http://www.ubique.dynalias.com/~sasakawa/>

次号は2012年1月頃に発行を予定しております。(長井清武 記)